

肝 ペ

(肝Co活動カンニングペーパー)

～肝Co活動実践編～



厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）

「多様な病態に対応可能な肝疾患のトータルケアに資する人材育成及びその活動の質の向上等に関する研究」

研究代表者 江口有一郎

肝Co こんな活動も

全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。



予防

肝がん肝硬変予防のため肝炎の正しい知識を多くの方に普及する

共通の活動

肝炎の正しい知識の普及

- 肝炎啓発ポスターを掲示し、B型肝炎、C型肝炎の特効薬や治療費助成制度の周知を行う。
- 身近な人へウイルス性肝炎についての正しい知識を伝える。
- 世界肝炎デーなどの地域イベント等に参加し、啓発活動を実施する。
- 啓発資材（ティッシュ、うちわ、マスクなど）を作成し配布する。
- 肝臓病教室や市民公開講座の開催・参加を通じて、全国民へ正しい知識を広める。

患者さんの支援と相談対応

- 患者さんの気持ちに寄り添い、傾聴する。
- 肝疾患相談窓口（肝疾患診療連携拠点病院・肝疾患専門医療機関）を案内する。
- 患者さんからの相談に対し、専門外の内容でも「肝 Co」仲間と連携し、解決策を模索する。
- 奈良宣言のリーフレットを配布し、理解促進を図る。
- 肝炎ウイルス検査結果と B型肝炎ワクチン接種状況を確認し、未受検の場合は検査を勧める。（B型の場合）

「肝 Co」仲間の育成と活動の推進

- 患者さんや職員に「肝 Co」の受講を勧め、仲間を増やす。
- 院内外の肝臓病教室への参加をして知識をアップデートする。仲間を誘い高め合う。
- 「肝 Co」バッジの着用など認知度を上げる。
- 同施設内の肝 Co を知る。

医療機関・行政・地域との連携

- 院内職員に肝炎知識を啓発し、肝炎ウイルス検査の重要性を伝える。
- 医療安全や感染対策委員会と連携し、院内研修会を開催する。
- 病院ホームページで最新情報を発信する。
- 職場のイベントで、肝炎ウイルス検査受検勧奨の T シャツや帽子を着用して啓発する。
- 肝疾患診療連携拠点病院・医療機関・行政と協力し、啓発活動を展開する。
- 市町村・地下鉄駅・道の駅・薬局へポスター掲示やリーフレット設置を依頼する。





肝炎ウイルス検査の勧奨と啓発活動

患者さんの気持ちを傾聴

- 患者さんの声に耳を傾け、不安や疑問に寄り添う。

無料肝炎ウイルス検査の周知

- 院内外のイベントで無料肝炎ウイルス検査を実施する。
- 無料肝炎ウイルス検査ができる施設一覧を作成・配布・掲示する。
- 院内外のイベントに参加し、無料肝炎ウイルス検査や、実施検査機関の周知を行う。

未受検者への検査勧奨

- 問診やカルテの情報を活用し、肝炎ウイルス検査未受検者を拾い上げる。
- 肝炎ウイルス検査未受検者に、受検の必要性を伝え、早期検査を促す。
- 自身が担当する患者さんの受検歴を調べ、必要に応じて検査受診を促す。
- 家族や身近な人で未受検者には検査を促す。

検査結果の適切な伝達とフォローアップ

- 肝炎ウイルス検査を受けた人に、検査結果が適切に伝えられているか確認し、必要に応じて医師へつなげる。
- 検査結果通知カード等を渡し、陽性者には受診の必要性を説明する。
- 検査結果は陰性・陽性に関わらず必ず通知しなければならないことを院内職員で共有する。

受診者の付き添い者への検査勧奨

- 受診者の付き添いの人にも肝炎ウイルス検査を勧め、感染予防対策の方法を説明する。
- ウイルス性肝炎の患者さんの家族に検査を勧めると同時に、B型肝炎ワクチンの重要性を説明し、接種を促す。(B型の場合)

サルコペニア判定の実施

- 患者さんの筋肉量や栄養状態を評価し、適切な支援を行う。

生活習慣病患者さんへの受検勧奨

- 健康診断や腹部超音波検査を勧め、肝疾患リスクを情報提供する。
- 肥満など生活習慣病を持つ患者さんに FIB-4 index の検査値を伝え、必要時肝臓専門医への受診を勧める。

術前検査における肝炎ウイルス検査結果の適切な対応

- 術前検査で肝炎ウイルス検査結果が陽性だった場合、主治医に情報提供し、患者さんへの説明と肝臓専門医への紹介につなげる。
- 初回精密検査費用助成制度を案内して肝臓専門医療機関での検査を促す。(医療費軽減)
- 術前検査で肝炎ウイルス検査が陰性でも結果を伝える。

検査推奨のための環境整備

職員への検査手続きの周知

- 無料肝炎ウイルス検査の手続き方法について、職員に情報を共有する。
- 患者さんへの受検勧奨を職員に依頼し、受検勧奨を徹底する。

受検勧奨資材の作成と見直し

- 資材の内容やデザインを改善し、より効果的な啓発ができるよう工夫する。
- 肝炎ウイルス検査の重要性を周知⁰²³するため、啓発ポスターを院内に掲示する。

患者さんの気持ちを傾聴

- 患者さんが抱える不安や悩みに寄り添い、適切な対応を行う。

受診の必要性を説明

- 症状がない肝炎患者さんに対して、無症状でも病状が進行している可能性があることを伝え、早期受診を促す。

最新の治療法の紹介

- 患者さんに最新の治療法について情報提供し、受診への心理的なハードルを下げる。

専門医への受診の勧奨

- 肝炎ウイルス検査が陽性の患者さんに、肝臓専門医への受診を促す。
- 未治療で放置している肝炎患者さんに肝臓専門医への受診を促す。
- C型肝炎で過去にインターフェロン治療を受け、完治していない患者さんに再受診を促す。
- インターフェロン治療後で副作用を懸念し再治療を拒否している患者さんに、DAA 治療は副作用が少ないことを説明し、受診を促す。

精密検査費用の助成制度の説明

- 初回の精密検査費用の助成制度について説明し、手続きのサポートを行う。

糖尿病患者さんへの検査の推奨

- 糖尿病患者さんは肝がんのリスクが通常の2倍とされているため、腹部超音波検査を受けていない場合は検査を勧める。また、Fib-4 index を測定し、脂肪肝との関連性について説明する。

術前検査時の対応

- 眼科や整形外科などの術前検査で肝炎ウイルス検査が陽性だった患者さんには、肝臓専門医がいる医療機関への受診を勧める。
- 肝臓専門医がいる医療機関の一覧を作成し、周知する。
- 問診やカルテの情報を活用し、肝炎ウイルス検査が陽性の患者さんを適切に拾い上げる。





肝炎患者さんへの支援と治療の勧奨

患者さんの気持ちを傾聴

- 患者さんの不安や悩みに寄り添い、適切な対応を行う。

再治療の相談と勧奨

- 過去にインターフェロンなどの治療を受けた患者さんでウイルスが排除されていない場合、医師の確認後に再治療を勧める。
- インターフェロン治療を受けた患者さんが抱える再治療への不安について話を聞き、適切な情報を提供する。

治療薬の服薬管理

- 患者さんが治療薬を飲み忘れないための方法を一緒に考える。
- 服薬中における自覚症状（副作用症状含む）等出現時の対処方法について十分な説明を行う。

B型肝炎の再活性化リスクの管理

- B型肝炎の患者さんがステロイド・免疫抑制剤・抗がん剤を使用する際、再活性化のリスクをチェックする。
- B型肝炎の再活性化のリスクのある患者さんの検査が適切に行われているか確認する。
- B型肝炎再活性化について院内、特にステロイド・免疫抑制剤・抗がん剤を使用する部署での周知を行う。

治療と生活の両立支援

仕事と治療の両立支援

- 仕事と治療の両立に悩む患者さんに対し、支援を行う。（専門員へつなぐ）

医療費助成制度の説明と相談対応

- 医療費助成制度について説明し、相談に応じる。
- 医療費助成制度についてのわかりやすいリーフレットを作成する。
- 医療費助成制度の手続き方法について案内する。

治療の継続支援

- 入院・外来患者さんに対し、治療完遂までの継続の重要性を説明し、支援する。
- ウイルス性肝炎の治療中から治療後も定期検査が必要であることを伝える。

肝炎ウイルス治療の情報提供

- 肝炎ウイルス治療について、副作用がほとんどなく内服のみで治療可能であること、C型肝炎はウイルス排除が可能であること、B型肝炎はウイルスの活動性を抑えることができることを伝える。

アルコール依存症患者さんおよび家族への対応・支援

- アルコール依存症の患者さんや家族に必要なサポートを提供し、適切な医療につなげる。

肝炎患者さんへの定期検査の推奨

定期検査の必要性を説明

- 肝炎ウイルス陽性歴のある患者さんに対し、定期検査の重要性を伝え継続的な受診を促す。
- 治療後の発がんリスクについて、実際の数値を示しながら説明する。
- 定期検査を受診していない患者さんに連絡し、受診を勧める。
- 他の疾患で受診している患者さんのうち、過去に肝炎ウイルス治療歴のある患者さんの定期検査状況を確認する。

定期検査の周知と助成制度の案内

市民公開講座の開催

- 定期検査の必要性を広く周知するために講座を開催する。

治療の初期段階での説明

- 治療開始時から定期検査の重要性について説明し、検査の継続を促す。

定期検査費用の助成制度の説明

- 費用助成制度の対象者に対し、利用可能な制度を案内する。



肝Coこんな活動も

臨床検査技師さん

全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。



予防

肝がん肝硬変予防のため **肝炎の正しい知識**を **多くの方に普及**する

臨床検査技師さん だからこそ

- 肝炎ウイルス陽性者の拾い上げ方法やリストの作成方法を施設間で共有する。
- 肝炎ウイルス陽性患者さんの拾い上げについて、同職種にも情報提供を行う（分野が異なる日常業務に従事している場合、同職種でも知識が十分でない人がいるため）。
- ウイルス性肝炎や、脂肪性肝疾患について啓発ポスターを掲示したり、腹部超音波検査時などに広く啓発活動を行う。

MEMO





臨床検査技師さんだからこそ

無料肝炎ウイルス検査の案内と手続き

- 採血待合室に無料肝炎ウイルス検査の内容や正しい情報を掲示する。
- 来院時の問診票に「無料で肝炎ウイルス検査が受けられます。希望しますか？」の一文を追加する。
- 無料肝炎ウイルス検査を実施する。
- 無料肝炎ウイルス検査の手続き方法を職員へ周知する。
- 無料肝炎ウイルス検査時の院内フロー図を作成する。

検査結果の確認と説明

- 血液検査の内容や結果の説明をする。
- 術前検査での HBs 抗原・HCV 抗体検査結果について医師による後日の説明がある旨を患者さんに伝える。
- 肝炎ウイルス検査結果の解釈について説明し、特に HCV 抗体は中和抗体でないことを明示する。
- 肝硬度測定を実施し、腹部超音波検査時に肝線維化の程度を伝える。

糖尿病・脂質異常症患者さんへの対応

- 「糖尿病教室」や療養支援時に Fib4-Index 計算や腹部超音波検査を勧め、脂肪肝や発がんリスクを説明する。
- 糖尿病患者さんへ肝がんリスクが高いことを示し、腹部超音波検査や Fib4-Index 測定を推奨する。

陽性者への対応とフォローアップ

- 検査結果報告時に「役立つ制度の一覧」「肝疾患専門医療機関一覧」「大学肝疾患相談室の案内」を渡す。
- HBs 抗原と HCV 抗体の初見陽性者を抽出し担当医へ報告する。
- 初見陽性者を抽出し、一定期間ごとに肝疾患センターの医師や看護師と共有するシステムを構築する。

受検歴・情報管理と連携

- 健診センター受診時に肝炎ウイルス検査未受検者をピックアップする。
- Fib4-Index など指標の導入を進め、検査部門システムで演算式を作成し表示可能にする。
- 紹介状や検査申込書に肝炎ウイルス検査結果が記載される欄を設ける。
- 報告書の自動出力を設定し、検査数や陽性率、経過報告などを簡易化する。



臨床検査技師さん だからこそ

検査結果の説明と受診の推奨

- 肝炎ウイルス検査結果や肝機能検査結果を患者さんに説明し、必要な場合は受診を勧める。

未受診者の抽出と対応

- 肝炎ウイルス陽性患者さんの未受診者を抽出し、リストを作成して担当医に報告する。
- 肝炎ウイルス陽性患者数、肝疾患専門外来の受診状況、未受診者の現状を調査する。

新規陽性者への対応

- 肝炎ウイルス検査で陽性と判明した患者さんをリストアップし、専門医がいる場合は専門医へ、いない場合は ICT チームに相談する。
- 新規の陽性者について肝臓専門医、肝臓専門看護師、肝臓専門相談員に報告する。
- 新規陽性者の追加検査について主治医と相談する。

精密検査が必要な場合の対応

- 肝炎ウイルス検査陽性で精密検査が必要な場合、受検者の希望する専門医療機関を一覧から選定し、地域連携室を通じて紹介する。

医療従事者への対応

- 医療従事者が針刺し事故に遭った場合、迅速に血液検査を実施する。

MEMO



臨床検査技師さん だからこそ

- 採血時に患者さんの訴えをしっかり傾聴する。
- 定期受診および定期検査の重要性を丁寧に説明する。

MEMO



臨床検査技師さん だからこそ

定期検査のセットアップ

- 陽性者のための定期検査セットを作成する（1 ヶ月・3 ヶ月・6 ヶ月・12 ヶ月など）。

検査啓発活動

- 採血室に定期検査の重要性を伝える啓発ポスターを掲示する。
- 腹部超音波検査後に、患者さんに次回の定期検査について声をかけ、受診を促す。

MEMO



肝Coこんな活動も

理学療法士さん

全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。



予防

肝がん肝硬変予防のため肝炎の正しい知識を多くの方に普及する

理学療法士さんだからこそ

運動に関する啓発と教育

- 肝臓病教室や健康教室で、肝臓と運動の関係について説明する。
- 院内の「肝臓病教室」で運動の方法について説明する。
- 地域の運動教室や高齢者向け健康教室などで運動の方法を指導する。
- 市民公開講座で「肝臓を守るための運動療法」について講演し、運動の重要性を広める。

リハビリテーションでの支援

- リハビリ実施中に、肝疾患の方へサルコペニア予防の必要性を説明する。
- 肝疾患の方や脂肪性肝疾患の方に対し、適切な運動方法を紹介する。

運動療法の補助

- 患者さんが運動方法を視覚的に理解できるよう掲示物を作成する。
- 運動療法にきた患者さんに栄養士の話も聞くように伝える。

啓発資材と情報提供

- 外来受診の際、肝疾患患者さんに運動と栄養のパンフレットを手渡す。
- リハビリ室に肝炎啓発ポスターを掲示する。

サルコペニアの予防活動

- 市民公開講座や肝臓病教室で「指輪っかテスト」や「握力検査」を実施し、サルコペニアについて啓発する。

職員間の情報共有

- 肝疾患に対するリハビリの必要性を職員間で共有し、理解を深める。



理学療法士さん だからこそ

地域での啓発活動

- 地域の運動教室において、肝炎ウイルス検査の重要性を伝え、啓発を行う。

リハビリ時の受検推奨

- リハビリ介入時に患者さんの家族や同居者の受検歴を確認し、未受検者には検査を勧める。
- 他の疾患でリハビリを受けている患者さんにも、肝炎ウイルス検査を勧める（未受検の場合）。
- リハビリ介入時に肝炎の話につなげられるようバッチをつける

リハビリテーション室での啓発

- リハビリテーション室に肝炎ウイルス検査の啓発ポスターを掲示し、啓発グッズを設置する。
- リハビリ中の会話を通じて、肝炎についてや無料検査が受けられることを患者さんに伝える。

MEMO



理学療法士さん だからこそ

受診の必要性を説明

- 高度肥満の方で未受診の場合は受診を勧める。
- 奈良宣言のポスターを掲示し、ALT 値が 30 を超える方に対し受診を勧める。

MEMO



理学療法士さん だからこそ

運動の必要性和啓発

- 筋肉と肝臓の関係について説明し、運動の重要性を患者さんに伝える。
- サルコペニア予防のための運動療法を実施する。
- リハビリスタッフから声かけを行い、患者さんが運動の必要性を理解できるようサポートする。

リハビリ療法の実施

- 医師の診察後に運動療法を開始する。
- 入院中の肝疾患患者さんに対し、手術前および術後早期のリハビリを実施する。
- 患者さんに適したレジスタンストレーニングを指導し、負荷量を調整しながら評価を行い、運動意欲を向上させる。

環境整備と患者さんのサポート

- 運動に関する相談が患者さんから気軽にできるよう院内で環境を整備する（連携体制の構築）。
- リハビリの目標を設定し、達成状況を「見える化」することで患者さんの意欲向上を図る。

MEMO



理学療法士さん だからこそ

リハビリ継続の重要性とサポート

- リハビリの継続が大切である理由を患者さんに分かりやすく説明する。
- 筋力低下を防ぐため、自宅のできる具体的な運動方法を指導する。
- 運動の継続を患者さんと一緒に考える方法を模索し、チェックリスト作成や「ながら運動」を取り入れる。

検査啓発活動

- 採血室に定期検査の重要性を伝える啓発ポスターを掲示する。
- 腹部超音波検査後に、患者さんに次回の定期検査について声をかけ、受診を促す。

InBody 測定の連携

- 診察時に医師から InBody 測定を依頼してもらい、測定結果を運動支援や栄養支援に活用する。

MEMO



肝Coこんな活動も

放射線技師さん

全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。



予防

肝がん肝硬変予防のため肝炎の正しい知識を多くの方に普及する

放射線技師さん だからこそ

患者さんとの直接対応

- 整形外科領域などで患者さんと接した際に、肝炎に関するチラシを配布する。
- 腹部超音波検査中に脂肪肝について説明する。
- 糖尿病患者さんに対し、肝がんのリスクが高いことを示し、腹部超音波検査の必要性を伝える。

啓発ポスター・資料の設置

- 放射線検査室の前に肝炎啓発ポスターを掲示する。
- エコー検査の重要性や具体的な検査方法について説明する。
- 院内において感染症対策委員会に参加し、啓発活動を推進する。

地域活動と説明会

- 市民公開講座で無料の腹部超音波による簡易脂肪肝チェックを実施する。
- 健診エコーで脂肪肝と診断された方のリスク因子分析を行い、対策を検討する。
- 啓発イベントや健診時などでアルコールの飲み過ぎ、運動不足、偏った食事などが肝臓に与える影響を地域住民に説明する。



放射線技師さん だからこそ

市民公開講座での活動

- 市民公開講座において、市民向けに無料の腹部超音波簡易検査を実施し、脂肪肝をチェックする。
- 市民公開講座でエコー検査など画像検査（CT、MRI）の重要性や具体的な検査方法について説明する。

健診オプションの導入

- 健診で ATI (Attenuation Imaging) を利用したオプションを取り入れ、検査精度を高める。

糖尿病・脂質異常症患者さんへの対応

- 「糖尿病教室」や療養支援時に Fib4-Index 計算や腹部超音波検査を勧め、脂肪肝や発がんリスクを説明する。
- 糖尿病患者さんへ肝がんリスクが高いことを示し、腹部超音波検査や Fib4-Index 測定を推奨する。

検査の啓発と不安の軽減

- 腹部超音波検査、肝硬度測定、脂肪量測定の有用性や具体的な検査方法についてポスターやパンフレットを作成する。
- HBs 抗原と HCV 抗体の初見陽性者を抽出し担当医へ報告する。
- 作成した資料を活用し、検査に対する不安を軽減できるよう説明する。

MEMO



放射線技師さん だからこそ

検査必要性の説明

- 患者さんに画像検査の必要性をわかりやすく説明し、検査の重要性を理解してもらう。

肝炎ウイルス検査陽性時の対応

- 手術前スクリーニングで肝炎ウイルス検査が陽性の場合、肝臓専門医への受診を勧める。

検査内容の説明

- 画像検査の種類や内容について具体的に説明し、患者さんの不安を軽減する。
- 複数の画像検査を受ける場合、それぞれの違いや特徴についてわかりやすく説明する。

検査の前処置についての説明

- 前処置が検査に与える影響について詳しく説明し、患者さんが適切に準備できるよう支援する。

患者さんの不安の解消

- 検査に対する患者さんの不安を傾聴し、丁寧に対応することで心理的負担を軽減する。

MEMO



放射線技師さん だからこそ

検査の重要性と説明

- 画像検査の必要性について患者さんに分かりやすく説明し、理解を深めてもらう。
- 腹部超音波検査中に脂肪肝について説明し、リスクと予防の重要性を伝える。

患者さんと家族のサポート

- 画像検査の種類や内容について説明し、患者さんの不安を軽減する。
- 放射線治療や TACE（肝動脈化学塞栓療法）に対する不安を抱える患者さんに声かけを行い、心理的サポートを行う。
- 肝生検や RFA（ラジオ波焼灼術）治療の際、患者さんに適切な声かけを行う。
- 患者さんや家族の不安に寄り添い、丁寧に説明することで検査への不安を軽減する。

MEMO



放射線技師さん だからこそ

定期検査の重要性の説明

- 検査時に患者さんに対し定期検査の必要性を分かりやすく説明する。
- 継続的な経過観察が必要である理由を丁寧に伝え、理解を促す。

家族との協力体制の構築

- 定期検査をスムーズに進めるために、患者さんの家族の協力が得られるよう仲介し、家族の理解を深める。

MEMO



肝Co こんな活動も

保健師さん



全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。

予防

肝がん肝硬変予防のため肝炎の正しい知識を多くの方に普及する

保健師さん だからこそ

肝炎予防と健康教育

- 集団検診の場に肝炎啓発ポスターを貼る。
- 企業での健康教室で肝炎についての啓発を行う。
- 地域で肝炎に関する健康教育を行う。
- B 型肝炎ワクチンのスケジュールを説明する。
- ワクチン集団接種の場で肝炎予防の啓発活動を行う。

母子支援と高齢者への対応

- ウイルス性肝疾患を抱えた母子への家庭訪問で育児の不安を傾聴する。
- 高齢者クラブの健康相談で相談を受ける。

個別の生活支援と相談対応

- 肝疾患患者さんの生活での困り事を確認し、必要に応じて相談に応じる。
- 健康相談から必要に応じて拠点病院などへ引き継ぐ。
- 肝炎ウイルス検査陽性者の家族からの健康相談に対応する。

若年層への教育と啓発

- 健診機会が少ない若年層（学生など）に対し、ウイルス性肝疾患やアルコール、生活習慣病による肝炎・肝機能障害の健康教育を実施する。
- 脂肪性肝疾患が疑われる方へ健診を勧める。
- 脂肪性肝疾患から派生する肝がんについて啓発を行う。

サルコペニア予防の啓発

- サルコペニア予防のための啓発活動を行う。

保健師さん だからこそ

肝炎ウイルス検査の啓発活動

- 他の検診の啓発と併せて、肝炎ウイルス検査の受検を勧める。
- 市民健診の問診票で無料肝炎ウイルス検査を受けるよう案内する。
- 保健指導時に肝炎ウイルス検査を実施したことがあるか確認し、未実施の場合は検査を勧める。
- 妊娠届出時に肝炎ウイルス検査の重要性を説明し、受検を促す。

地域保健師との協力と情報共有

- 地域や健診センターの保健師とともに、健診時に肝炎ウイルス検査についてのチラシを作成し、啓発活動を実施する。
- 自治体と健診センター間で受診状況の情報共有ができる体制を整備する。

健康教育と無料検査の体制構築

- 健康教育の場で、無料で肝炎ウイルス検査ができることを周知し、体制を整備する。
- 肝炎事業について患者さんや家族から意見を聴取し、改善点を取り入れる。

MEMO



保健師さん だからこそ

飲酒状況や検診データに基づく健康アドバイス

- アルコールの飲酒状況を問診し、AUDIT スコアや検診結果をもとに Fib4-Index などを活用して患者さんに適切なアドバイスを提供する。

陽性者への受診案内とサポート

- 健診で肝炎ウイルス検査が陽性と判明した患者さんに対して、今後の検査スケジュールや助成制度について説明し、不安を軽減する。
- 乳児健診時に肝炎ウイルス検査が陽性のお母さんには受診を勧める。
- 肝炎ウイルス検査陽性者のリストを作成し、受診状況を確認する。
- 肝炎ウイルス検査陽性者には健診当日に肝疾患専門医療機関への紹介と予約を行う。
- 肝炎ウイルス検査陽性者への訪問や面接を繰り返し行い、信頼関係を築く。

専門医療機関の紹介と情報提供

- 健康相談の場で肝臓専門医がいる医療機関の情報を提供する。
- 健診後の保健指導時（肝機能精密）に肝臓専門医のいる病院を紹介する。
- 肝炎ウイルス検査が陽性の患者さんに肝臓専門医を紹介する。

助成制度の案内

- 初回の精密検査費・定期検査費用助成制度の申請手続きを案内して、患者さんを適宜サポートする。

MEMO



保健師さん だからこそ

制度の案内と申請サポート

- 治療費助成制度の申請手続きを行う。
- 肝がん重度肝硬変研究促進事業の手続き内容を丁寧に説明する。
- 定期検査費助成制度を利用している肝がん患者さんに、肝がん重度肝硬変研究促進事業の概要と申請方法を案内する。

専門職向けの学びの場の提供

- 肝疾患に関する制度の情報を共有するため、専門職を対象とした勉強会を開催する。

患者さんへの受診・検査推奨

- C型肝炎未治療の患者さんに最新の治療法を紹介し、肝臓専門医への受診を勧める。
- 治療費助成制度の申請に来た患者さんに、定期検査の重要性を伝え、継続的な健康管理を促す。

MEMO



保健師さん だからこそ

定期検査や受診の必要性の説明

- 肝炎患者さんに対し、定期検査や受診の重要性を説明する訪問活動を行う。
- 医療費助成制度の申請時に、必ず定期検査を継続するよう声かけを行い、意識付けを促す。

地域保健師・健診センター保健師による活動

- 地域の保健師が検診で肝炎陽性者の受診・受療状況を確認する。
- 健診センターの保健師が健診で肝炎陽性者を抽出し、肝臓専門医の紹介と受診・受療状況の確認を行う。

健診時の健康指導とデータ確認

- 健診時に受診状況を確認するとともに、健診データの説明や健康相談を実施する。

MEMO



肝Coこんな活動も

病棟看護師さん

全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。



予防

肝がん肝硬変予防のため肝炎の正しい知識を多くの方に普及する

病棟看護師さん だからこそ

患者さんと家族への説明と支援

- 肝炎ウイルス陽性者およびその家族に感染経路や対策について説明する。
- 肝炎ウイルス陽性者の家族から相談を受け、感染対策に関する具体的なアドバイスを行う。
- 肝炎ウイルス陽性者へ生活上の注意点や出血時の適切な対応について説明する。

生活指導と啓発

- 患者さんに日常生活指導（食事・運動・禁酒）を行い、健康維持を支援する。
- 肝炎体操の実施を勧め、健康を促進する。
- 肝疾患患者さん向けに肝臓病教室で個別の疑問や悩みに対応する。

病棟スタッフへの指導

- 病棟スタッフに正しい感染予防対策を指導し、感染拡大を防止する。
- 職員に肝炎に関する最新情報を提供し、勉強会を開催する。

啓発活動

- 病棟内に啓発ポスターを掲示し、情報発信を行う。
- 肝炎すごろくなどの教材を活用して、患者さんやスタッフに肝炎について啓発する。

測定と観察

- 脂肪性肝疾患患者さんの腹囲を測定し、意識づけと経過観察を行う。

病棟看護師さんだからこそ

肝炎ウイルス検査の推奨

- ウイルス性肝炎の患者さん家族に対して肝炎ウイルス検査を勧める。
- カルテから患者さんの肝炎ウイルス検査歴を把握し、未受検者であれば検査を勧める。

検査結果の通知と対応

- 術前検査などで結果が陰性であっても、必ず患者さんに通知する。
- 医師との連携を通じて適切な情報共有を行う。

妊婦・産婦へのサポート

- 産婦人科で肝炎ウイルス検査陽性の妊婦や産婦に対し、今後の検査や治療の流れを詳しく説明する。
- 患者さんの不安に寄り添い、安心感を与える対応を行う。

病棟での啓発活動

- 病棟内に受検勧奨のポスターを掲示し、患者さんやスタッフへの啓発を行う。

MEMO



病棟看護師さん だからこそ

術前検査での対応

- 術前検査で肝炎ウイルス陽性者が見つかった場合、医師に相談し、肝臓専門医への紹介を検討する。

未受診者への受診推奨

- 肝炎ウイルス検査で陽性と判明したものの未受診の患者さんに対して、肝臓専門医への受診を促す。

MEMO



病棟看護師さん だからこそ

患者さん看護と治療支援

- 肝がん、肝硬変、肝疾患の患者さんへの看護および治療のサポートを行う。
- 化学療法や免疫抑制剤開始時の HBV 再活性化予防を行い、服薬開始前の指導や治療後の検査の必要性を説明する。
- 肝疾患患者さんの退院時指導を行い、外来看護師や MSW（医療ソーシャルワーカー）と連携して退院後のサポート体制を話し合う。
- 肝疾患患者さんの退院時に、必要な療養支援を提供する。

患者さんと家族へのサポート

- 肝がん患者さんの家族へのフォローを行い、心理的および実務的な支援を提供する。
- 肝がん患者さんのターミナルケアを行う。
- 肝がん重度肝硬変が研究促進事業の対象者を確認する。
- 肝炎ウイルス陽性の妊婦への心理的サポートを行い、不安を軽減する。

患者さんへの療養支援

初回の精密検査費・定期検査費用助成制度の

- 肝疾患患者さんやその家族に療養支援を提供する。症状管理として以下を行う：
 - 肝性脳炎の予防方法の指導。
 - 腹水・胸水把握のための体重測定を推奨。
 - かゆみのマネジメントのアドバイスを行う。

治療と服薬指導

- 肝疾患患者さんに食事・栄養指導を行う。
- 服薬指導を実施し、飲みにくい薬がある場合は医師や病棟薬剤師と連携し、内服タイミングや薬剤変更の相談を行う。
- 過去治療歴があるが未治療の患者さんに対し、治療の重要性を説明し、受診を促す。

専門職への連携と啓発

- 患者さんの悩みに応じて適切な専門職（MSW、ピアサポートなど）に連携する。



病棟看護師さん だからこそ

退院後のサポートと継続的なケア

- 退院後も定期的な通院が必要である理由を患者さんに丁寧に説明する。
- 外来看護師に継続看護を依頼し、患者さんのフォローアップを行う。

地域との連携と支援

- 地域との連携を図るため、必要な情報を提供し、MSW と連携を行う。
- アルコール飲酒中の患者さんに断酒会を勧め、回復を支援する。

イベント案内と啓発活動

- 肝臓病教室や市民公開講座などのイベントを患者さんに案内し、健康に関する情報提供と啓発を行う。

MEMO



肝Coこんな活動も

外来看護師さん

全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。



予防

肝がん肝硬変予防のため肝炎の正しい知識を多くの方に普及する

外来看護師さんだからこそ

患者さんへの対応とサポート

- 外来受診で気になる患者さんに肝臓食パンフレットを設置、必要時に医師や看護師から配布する。
- DM、BMI が高い、肥満の患者さんや腹囲が異常値の方に脂肪性肝疾患のパンフレットを渡し、「最近では脂肪肝も癌の原因になるって知っていますか」と声をかける。
- 脂肪性肝疾患患者さんの腹囲を測り、意識づけと経過観察を行う。
- 化学療法や免疫抑制剤開始予定の患者さんに対し、HBV 感染既往（再活性化リスク）を確認する。

母子への支援

- ウイルス性肝炎合併妊娠の母親から出産した児の母子感染予防と精神的サポートを行う。
- 子どもの予防接種に関する啓発を行い、スケジュール調整を支援する。

啓発活動と相談窓口

- 看護の日に肝炎の啓発活動を行う。
- 他科の外来ブースに肝炎ウイルス検査陽性者対応や相談窓口の案内を掲示する。
- 肝疾患専用相談電話に対応し、患者さんや家族の相談に応じる。

スタッフ間の情報共有と教育

- 肝 Co 以外のコメディカルスタッフに、肝炎に関する知識や検査結果通知の必要性について普及する。
- 外来肝 Co が主導し、他の外来スタッフとの情報共有を図る勉強会を開催する。
- 他科の医師やスタッフからの肝炎に関する問い合わせに対応する。

外来看護師さん だからこそ

検査結果の伝達

- 検査を受けた患者さんに結果を伝える。または通知カードや肝炎ウイルス検査シールを渡す。

家族への検査推奨

- HCV や HBV 患者さんの家族やパートナーに対し、肝炎ウイルス検査を勧める。
- 患者さんの病歴や家族歴を聞き取り、肝炎の可能性を確認する。必要に応じて検査を勧める。

妊婦・初診患者さん対応

- 妊娠初期に肝炎ウイルス検査で陽性の場合、担当医と相談し、肝臓専門医と連携するよう案内する。
- 初診患者さんや治療開始の患者さんに対し、他職種と連携して情報共有を図り、橋渡し役を担う。

カルテや検査データの活用

- 閲覧するカルテ全ての患者さんの肝炎ウイルス検査結果を確認し、未受検の場合は検査を勧める。
- HBs 抗原と HCV 抗体の初見陽性者を抽出し担当医へ報告する。
- 外来患者さんの肝機能に関する検査値に注意を払い、必要時に適切な対応を検討する。
- 問診表やカルテから未受検者を見つけ、検査を勧める。

受検歴・情報管理と連携

- 他科患者さんの術前検査で肝炎ウイルス陽性者がいた場合、担当医と相談し、肝臓専門医への連携を行う。



外来看護師さん だからこそ

肝炎ウイルス検査陽性者の受診推奨と予約対応

- DAA（直接作用型抗ウイルス薬）の治療後の患者さんで未受診の場合、肝臓専門医の外来担当日に受診するよう促し、予約を調整する。
- 肝炎患者さんの家族に受診歴を伺い、未受診の場合は予約につなげる。
- 院内の肝炎ウイルス陽性患者さんを拾い上げ、肝臓専門医への受診を勧める。

カルテ確認と対応

- 閲覧するカルテ全ての患者さんについて肝炎ウイルス検査結果を確認し、陽性の場合は受診歴をチェックする。未受診者には専門医を紹介する。

患者さんと家族への支援

- 患者さんや家族の困りごとを聞き取り、必要に応じて、他職種と連携し対応する。
- C型肝炎やB型肝炎の治療開始時に患者さんに必要な説明を行う。

精密検査と費用助成の案内

- 肝炎ウイルス検査陽性者に精密検査を受診するよう促し、初回精密検査費助成制度について説明する。

伝達システムの構築と活用

- 肝炎ウイルス検査陽性判明時の伝達システムを構築し、適切に活用する。

MEMO



外来看護師さん だからこそ

治療開始時の説明

- 肝炎治療を開始する患者さんに、肝炎治療パスを利用して治療の流れを説明する。

受診時の対応

- 受診時には問診で患者さんの症状や悩みを聞き取り、相談に対応する。
- DAA（直接作用型抗ウイルス薬）、LC（肝硬変）、HCC（肝細胞癌）などの治療中で体調不良を訴える患者さんに適切な対応を行う。

外来患者さんと家族への療養支援

- 外来通院中の LC、HCC の患者さんや家族に以下の療養支援を提供する：
 - 症状管理：肝性脳症の早期発見、腹水・胸水把握のための体重測定の推奨、かゆみのマネジメント。
 - 内服管理：排便状況を確認し、必要に応じて下剤を調整する。
新規抗ウイルス薬の服用方法と副作用について説明する。
 - 制度利用：介護保険申請や訪問看護師の利用調整をサポートする。

治療内容と助成制度の説明

- 肝炎治療内容や助成制度について詳しく説明し、治療中の患者さんをフォローアップする。
- 外来診察時に肝炎治療中の患者さんに対する生活指導を行い、相談窓口として対応する。
内容によって適切な職種との連携を図る。

患者さんと家族の気持ちに寄り添った対応

- 患者さんや家族の「大切にしたいこと」を聞き取り、必要に応じて他職種と連携し、対応する。

連携と運営

- 肝炎治療パスを作成し、治療スケジュールの管理や受診状況を把握する。
- 外来肝疾患患者さんへの療養支援をさらに良い方法で提供するため、多職種カンファレンスを企画・運営する。
- 看護師が受診状況を確認し、検査や受診の漏れがないか確認後、外来委員会で報告し、医師に周知徹底を図る。
- 病棟と連携し、退院後の患者さんのフォローアップを行う。



外来看護師さん だからこそ

DAA 治療終了後の対応

- DAA 治療終了後の患者さんに対し、フォローアップを行い、継続受診や定期検査の必要性を説明することで健康管理を促進する。

母子感染予防と精神的サポート

- ウイルス性肝炎を持つ母親から生まれたお子さんに対し、予防接種と定期検査を実施する。
- 精神的な不安を軽減するための支援を母親に提供する。

定期検査の重要性の説明

- 肝疾患を持つ患者さんに定期検査の重要性を説明し、通院状況を把握することで患者さんの健康維持を支える。

MEMO



肝Co こんな活動も

薬局薬剤師さん

全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。



予防

肝がん肝硬変予防のため肝炎の正しい知識を多くの方に普及する

薬局薬剤師さんだからこそ

患者さんへの対応と相談

- 健康食品やサプリメントに関する対応を行い、患者さんの健康を支援する。
- お薬相談会で肝炎治療に関する相談を受け付け、適切なアドバイスを提供する。

健康測定とリスク発見

- 健康測定（内臓脂肪測定など）を通じて SLD リスク者を早期発見し、受診につなげる。

啓発活動と教育

- 肝炎の知識を高めるため、キャンペーン期間を設け、全ての人に肝炎に関する資料を配布する。
- 学校薬剤師として校内で肝炎予防や啓発活動を行い、知識を広める。
- 薬局内で運動や栄養についてのリーフレットを配布し、勉強会を実施する。

情報発信とサポート

- 薬局内に肝炎関連のポスターを貼り、情報を発信する。
- 肝疾患治療薬と相互作用のある薬を一覧にまとめ、関係者が利用できるよう管理する。



薬局薬剤師さん だからこそ

検査歴の確認と推奨

- 健康測定時にウイルス性肝炎の検査歴を確認し、未受検者には肝炎ウイルス検査を勧める。
- 肝機能が悪い患者さんに対し、検査歴を確認し、未受検であれば検査を勧める。

糖尿病患者さんへの対応

- 糖尿病患者さんで腹部超音波検査を受けたことがない場合、腹部超音波検査を勧める。

市販薬購入者へのアプローチ

- 肝臓関連の市販薬やサプリメントを購入する方で、肝炎ウイルス検査が未受検の場合は検査を勧める。

MEMO



薬局薬剤師さん だからこそ

専門医の受診促進

- 肝臓専門医に受診していない高度肥満患者さんに対し、適切な受診を促す。
- 問診や投薬対応時に肝炎の既往歴を確認し、未受診者がいれば受診を勧める。
- Fib-4 index をアプリなどを活用し計算し、必要な方には医療機関受診を勧める。

検査結果を基にした受診対応

- 健康診断や人間ドックの結果を基に患者さんに受診を勧めることで、早期の診断とケアにつなげる。

抗がん剤使用者へのフォローアップ

- 抗がん剤を使用している患者さんにフォローアップの電話を行い、体調や副作用の状況を確認する。状態が悪い場合は受診を勧める（テレフォンフォローアップ）。

相談窓口での対応

- 薬局窓口で患者さんからの相談を受け、適切な受診を促すとともに肝 Co や肝臓専門医を紹介する。

MEMO



薬局薬剤師さん だからこそ

服薬指導とフォローアップ

- 処方箋に基づき服薬指導を行い、コンプライアンス向上を図る。
- 副作用の有無をチェックし、必要に応じて対応する。

肝炎の既往確認と情報提供

- 問診や投薬対応時に肝炎の既往歴を確認し、未治療者には治療に関する情報を提供する。

患者さんの服薬不安への対応

- 薬に対する不安について相談を受け、適切なアドバイスを提供する。

服薬支援と飲み忘れ対策

- 患者さんの生活背景を考慮しながら服薬支援を行い、飲み忘れ防止策を考える。

服用方法の説明

- アミノ酸製剤など飲みにくい薬の服用方法を説明する。
- 内服薬の分割可否について相談に応じる。

継続服薬のサポート

- かかりつけ薬剤師として患者さんを担当し、服薬継続を支援する。

メンタルケア

- 肝炎・肝硬変治療薬を服薬中の患者さんやその家族のメンタルケアを行う。

抗がん剤使用者へのチェック

- 抗がん剤や、免疫抑制剤を使用している患者さんが B 型肝炎再活性化の対象かを確認する。

生活パターンに応じた服薬提案

- 患者さんの生活パターンを確認し、服薬が困難な場合は処方変更を医師に提案する。
例) エンテカビルなど、食事の前後 2 時間空ける必要がある薬の調整



薬局薬剤師さん だからこそ

定期検査の確認と受診推奨

- 肝炎の既往がある患者さんに対し、定期検査受診状況の確認を行い、継続的な受診を勧める。
- 健康診断の定期的な受診を患者さんに促し、健康管理をサポートする。

他疾患で受診する患者さんへの対応

- 他の疾患で来院した患者さんにも、肝炎既往がある場合は血液検査結果を確認し、一緒に肝機能値を把握する。

検査結果の記録と患者さんの管理

- 検査を受けたことを忘れる場合に備え、「肝炎ウイルス検査受けました」というシールを作成し、陰性結果でも患者さんのお薬手帳に貼ってもらうことで記録を残す。

啓発リーフレットの設置

- 定期検査受診を促すための案内リーフレットを薬局に設置し、患者さんへの情報提供を行う。

MEMO



肝Co こんな活動も

病院薬剤師さん

全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。



予防

肝がん肝硬変予防のため **肝炎の正しい知識**を **多くの方**に普及する

病院薬剤師さん だからこそ

患者さん対応と相談支援

- 肝炎に関する相談を受け付け、患者さんに適切なアドバイスを提供する。
- お薬相談会で肝炎の受診や検査を勧め、健康維持を促進する。

教育と啓発活動

- 肝臓病教室において薬に関する説明を行い、患者さんや家族の理解を深める。
- 院内で B 型肝炎再活性化についての勉強会を開催し、医療スタッフの知識向上を図る。

健康食品とサプリメントの対応

- 服薬確認時にサプリメントや健康食品の使用状況を確認し、患者さんへの健康アドバイスを行う。
- 健康食品やサプリメントの肝臓への影響を評価し、患者さんの健康管理をサポートする。

リスク患者さんの管理システム構築

- 院内で B 型肝炎再活性化リスク患者さんを拾い上げるシステムを構築し、迅速な対応が可能な体制を整備する。



病院薬剤師さん だからこそ

検査と治療の推奨

- 薬局窓口で肝炎ウイルス検査の受検を積極的に勧める。
- 問診や投薬対応時に肝炎既往の有無を確認し、未受診者には検査や治療を勧める。
- 肝炎治療に関する相談を受け、必要に応じて受検や受診を促す。

健康測定と早期発見

- 健康測定を実施し、内臓脂肪測定を通じて脂肪肝リスクを早期に発見し、適切な受診につなげる。

情報提供と普及活動

- Fib-4Index の重要性を説明し、その普及を推進する。
- ALT（奈良宣言に基づく）の指標について説明し、患者さんの理解を深める。

MEMO



病院薬剤師さん だからこそ

健康診断結果を基にした受診促進

- 健康診断や人間ドックの結果を基に患者さんに受診を促し、早期診断と適切な治療につなげる。

問診や投薬対応時の確認

- 問診や投薬対応時に肝炎既往を確認し、未受診者がいた場合は受診を勧めることで継続的な管理を支援する。

糖尿病と肝臓病の関係の説明

- 糖尿病と肝臓病の関連性について、患者さんに分かりやすく説明し、健康管理の重要性を促進する。

リスク患者さんの拾い上げシステム

- 抗がん剤や免疫抑制剤開始時・開始後の患者さんを対象に、B型肝炎再活性化リスクの拾い上げシステムを構築し、迅速な対応を可能にする。

MEMO



病院薬剤師さん だからこそ

服薬指導と副作用説明

- 肝炎治療薬を服用している患者さんに対し、薬の効果や使用方法、副作用について丁寧に説明する。
- B型肝炎の患者さんに対し、長期服用時の服薬支援を行い、服薬離脱や悪化防止につなげる。
- 処方箋に基づき、服薬指導、コンプライアンス向上、副作用チェックを実施する。
- 肝臓病関連およびウイルス性肝炎治療薬の適正使用と副作用について説明し、患者さんの安心感を高める。

相談対応と治療支援

- 肝炎治療に関する相談に応じ、受検や受診を促進する。
- 肝がん治療を受けている患者さんの内服治療における副作用について聴取し、適切な対応を行う。
- DAA（直接作用型抗ウイルス薬）を中断しない方法を患者さんと共に考え、服薬の継続を支援する。

飲みにくい薬への配慮

- アミノ酸製剤など飲みにくい薬の服用方法について説明し、フレーバー選択や剤型変更などの服薬支援を提供する。
- 内服薬の分割可否について医師と連携し、患者さんの服薬方法に関する相談に応じる。
- 空腹時内服薬の場合、その他の内服薬の服用時間を検討し、コンプライアンス向上につなげる。

他科や院外薬局との連携

- 院外薬局と肝がん患者さんの治療について連携し、情報共有を強化する。
- 他科入院中の患者さんが肝臓の薬を服用している場合、薬の作用や継続の重要性を他科医療者に説明する。

HBV 感染スクリーニング

- 化学療法前に HBV 感染スクリーニングを目的とした検査を依頼し、適切なリスク管理を実施する。



病院薬剤師さん だからこそ

治療薬開始時の説明

- 治療薬の開始時に、定期検査の重要性について患者さんに説明し、継続的な検査の必要性を促す。

B型肝炎再活性化の追跡

- B型肝炎再活性化の患者さんの結果を経時的に追い、適切な対応を行う。

退院後の服薬支援

- 退院後も服薬アドヒアランスを維持できるよう、服薬指導を実施し、患者さんの健康管理をサポートする。

治療薬開始時の説明

- 治療薬の開始時に、定期検査の重要性について患者さんに説明し、継続的な検査の必要性を促す。

治療計画の見直し

- B型肝炎再活性化の患者さんの結果を経時的に追い、適切な対応を行う。

肝がん治療中の連携

- 肝がん治療で抗がん剤服薬中の患者さんについて、病院と院外薬局が連携して患者さん支援を行う。

MEMO



肝Coこんな活動も

栄養士さん

全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。



予防

肝がん肝硬変予防のため **肝炎の正しい知識**を **多くの方**に普及する

栄養士さんだからこそ

情報提供と啓発活動

- 食札に「7月28日は世界肝炎デー」などと印字して患者さんに啓発する。
- 栄養支援を受ける全診療科の患者さんや家族に肝疾患に関する情報を提供する。
- 肝炎啓発のチラシやポスター、啓発資材を栄養支援室や待合室に設置する。
- 地域の講演会や市民公開講座で肝炎や脂肪性肝疾患に関する啓発活動を行う。
- 院内の肝臓病教室で栄養や食事療法について説明する。

教育資料の作成

- レシピ集やリーフレットを作成し、患者さんや家族に肝疾患に関する知識を普及させる。
- サルコペニア予防を啓発するため、市民公開講座などで簡単にできる「指輪っかテスト」方法を説明する。

病因と予防の周知

- 肝臓疾患の原因について、アルコールや飲酒以外の要因も含めて患者さんに周知する。
- 健診二次検査で来院する患者さんに対し、肝炎の成因と予防に関する説明を行う。

啓発活動

- 新聞記事やテレビを通じて肝疾患啓発活動に栄養士として参加する。
- 肝臓と飲酒の関係について啓発活動を行う。

資格取得と専門性の向上

- 肝疾患病態専門管理栄養士の資格取得を目指し、専門性を高める。

栄養士さん だからこそ

患者さんと家族への検査推奨と支援

- 栄養支援時に肝機能が悪い患者さんの検査歴を確認し、肝炎ウイルス検査が未受検の場合は検査を勧める。
- 肝硬変や肝がんの栄養指導を受けた患者さんの家族に対し、肝炎ウイルス検査歴を確認し、未受検ならば無料肝炎ウイルス検査を行っている医療機関を案内する。

糖尿病・高度肥満患者さんへの対応

- 糖尿病や高度肥満症などの患者さんに対し、腹部超音波検査歴を確認し、未実施の場合は腹部超音波検査を勧める。

集団支援と啓発活動

- 家族も参加可能な家族支援講座などの集団支援を実施し、患者さんや家族へのケアを提供する。
- 栄養支援室に肝炎ウイルス検査のポスターや啓発グッズを設置し、情報提供を促進する。

脂肪性肝疾患患者さんと家族への栄養支援

- 脂肪性肝疾患の患者さんとその家族への栄養支援を医師に依頼し、包括的なケアを行う。

院内連携と効率化のための仕組み作り

- 院内で肝炎ウイルス検査の受検・受診・受療までの流れをどの部署でも確認できるよう、フローチャートを作成する。
- 検査がスムーズに行えるよう検査オーダーなどのセットを作成し、業務を効率化する。

MEMO



栄養士さん だからこそ

脂肪性肝疾患患者さんへの栄養支援

- 肝臓専門医を受診していない脂肪性肝疾患患者さんに対し、脂肪性肝疾患を考慮した栄養支援を提供する。糖尿病や心疾患などに関連する栄養支援も併せて実施する。

他科から依頼された患者さんへの対応

- 他科から依頼があった栄養支援で、ALT 高値やウイルス性肝炎未治療の患者さんに対し、肝臓専門医への受診を勧める、または担当医に提案する。

服用支援

- 肝不全用経腸栄養剤の服用ポイントを説明し、患者さんが服用しやすいよう支援する。
- LES（Late Evening Snack）向けの献立例を紹介し、その必要性について詳しく説明する。

患者さんとのコミュニケーション

- 栄養支援時に患者さんの気持ちに寄り添い、しっかりと傾聴することで信頼関係を築く。

MEMO



栄養士さん だからこそ

患者さんの意欲向上

- 毎回の栄養支援で InBody 測定や握力測定を実施し、数値の比較を通じて患者さんの意欲を高める。

肝臓病料理教室の開催

- 患者さんと医療従事者が参加する肝臓病料理教室を開催し、実際に健康的な食事を学ぶ機会を提供する。

薬の副作用と食事対応の説明

- 薬の副作用に応じた食事対応について説明し、患者さんが安心して治療を継続できるよう支援する。

栄養支援の実施と改善提案

- 院内で入院・外来患者さんに対し、パンフレットなどを使用して栄養支援を行う。
- 肝疾患患者さんに診察日に合わせて栄養支援を提供し、改善点を提案する。

外食習慣の改善支援

- 外食の多い患者さんに無理なくバランスの良い食事ができるよう、コンビニ食や惣菜の「食事の組み合わせ例」のパンフレットを作成し、説明する。
- 無料宅配食の試食券を配布し、食事量や内容を体験してもらう。有料の冷蔵・冷凍弁当も案内する。

多職種連携と生活支援

- 薬や療養に関する相談に対応し、必要時に他職種と連携する。
- 肝疾患患者さんの生活支援を目的に、理学療法士と協力し、運動と栄養の関連について説明する。



栄養士さん だからこそ

体重コントロールファイルの活用

- 脂肪性肝疾患患者さんに対し、「体重コントロールファイル」を配布し、体重記録・食事記録・患者さんのエピソードを書き込んでもらう。
- 次回の栄養支援時にファイルを基に振り返りを行い、患者さんと一緒に改善点を見つける。

継続的な栄養支援

- 栄養支援を継続し、患者さんの変化やニーズに柔軟に対応しながらサポートを続ける。

InBody 測定の連携

- 診察時に医師から InBody 測定を依頼してもらい、測定結果を栄養支援に活用する。

MEMO



肝Co こんな活動も

ソーシャルワーカー
(SW) さん



全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。

予防

肝がん肝硬変予防のため肝炎の正しい知識を多くの方に普及する

SW さん だからこそ

患者さん・家族への情報提供とサポート

- 肝臓病教室で利用可能な公的サービスや相談室の案内を行う。
- 介護保険制度について説明し、患者さんを地域包括支援センターへつなぐ。
- 啓発活動を通じて受診方法や病院、相談室の案内を行い、患者さんが必要な支援につながるよう支援する。
- 肝炎訴訟制度について紹介し、助言を提供する。
- 専用相談電話での対応を通じて、患者さんの悩みに応える。
- 肝疾患に対する不安や治療方針に関する疑問について、一般的な肝疾患知識を共有し、公開されている情報先を案内することで患者さんの病識理解を支援する。

多職種・他機関との連携

- 関係機関（例：ケアマネージャーなど）に対して、肝炎に関する正しい知識を普及する。
- 医療連携として、他機関のソーシャルワーカーと転院時の情報提供や新制度に関する認識共有を行う。

啓発資料と情報収集

- 肝疾患に関する制度をわかりやすく説明するリーフレットを作成し、配布する。
- 各制度や事業の問い合わせ先、疾患別ガイドブック掲載サイト、地域ごとの専門医療機関などの情報を収集し、患者さんや家族からの相談に対応できるようにする。

医療現場や地域との関わり

- 院内外の医療者と連携し、肝炎に関する対応に困っている事例があれば声をかけ合い、解決を図る。
- 病院近隣の調剤薬局を訪問し、肝炎ウイルスに関するリーフレット、肝臓病教室等のイベント案内、肝臓病教室の案内や啓発ティッシュを配架することで情報提供を広げる。

SW さん だからこそ

肝炎ウイルス治療患者さんとの面談時の取り組み

- 肝炎ウイルス治療を受けている患者さんとの面談時に、家族の検査歴を確認する。
- 家族が肝炎ウイルス検査を受けたことがない場合、検査を受けるように勧め、必要に応じて適切な医療機関を案内する。

MEMO



SWさん だからこそ

患者さん・家族への社会保障制度の説明と支援

- ウイルス性肝炎の初回精密検査費助成制度や指定難病等の社会保障制度について説明する。
- 肝機能障害に関する身体障害者手帳の申請方法を案内し、利用可能なサービスについて説明する。
- 傷病手当金や障害年金の申請方法について説明し、申請をサポートする。
- 高額療養費制度について説明し、患者さんや家族が制度を活用できるよう支援する。

啓発資料と活用

- 各制度や申請方法の要点をまとめたリーフレットを作成し、面談時に活用するとともに、患者さんや家族に配布する。

医療機関や他機関との連携

- 医師の外勤先など、他の医療機関やソーシャルワーカーからの制度に関する相談に応じる。
- 医師から肝疾患に関する制度案内の依頼を受けた場合、カルテで患者さん情報（保険、居住地、家族情報など）を確認し、必要に応じて申請支援の必要性や案内のタイミング、制度利用のメリットを伝える。

MEMO



SWさん だからこそ

医療費助成と制度の説明

- 肝炎治療費助成制度について相談を受け、患者さんに丁寧に説明する。
- 指定難病に関する制度内容を説明し、患者さんの理解を促進する。
- 肝炎に関連する医療費助成制度や肝がん、重度肝硬変研究促進事業について説明する。

経済的支援と生活背景の確認

- 面談時に経済的な不安で DAA 治療を迷っている患者さんの保険状況や収入など生活背景を聞き取り、医師に使用予定の薬剤を確認し、治療にかかる具体的な費用および経済的負担軽減の方法等を案内する。

退院支援と治療調整

- 肝疾患患者さんの退院支援を行い、不安を訴える患者さんには専門医に確認するよう促し、必要時には専門職の肝 Co と家族等連携して治療調整を行う。

仕事と治療の両立支援

- 治療と仕事の両立が必要な患者さんに対し、担当医と連携して支援を提供する。
- 退職する患者さんには医療保険加入の継続方法について説明し、安心感を与える。(例：社会労務士への相談案内など)
- 就労に不安がある患者さんに産業保健総合支援センターを案内し、サポートを受けられるよう手助けする。

MEMO



SWさん だからこそ

定期検査と助成制度の説明

- 定期検査の重要性を患者さんに伝え、定期検査費助成制度について詳しく説明することで、制度の活用を促進する。

地域移動した患者さんへの支援

- 地域へ移動した患者さんが引き続き定期検査を受けられるよう、関係者と連携して医療機関の情報提供や検査体制を整える。

制度申請の情報提供

- 定期検査費助成制度の申請手続きに関する情報を提供する。
- 制度申請の詳細を患者さんの家族にも説明し、必要に応じてサポートを行う。

MEMO



肝Co こんな活動も

介護士さん



全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。



予防

肝がん肝硬変予防のため **肝炎の正しい知識**を **多くの方に普及**する

介護士さん だからこそ

利用者さんや家族への啓発活動

- 職場の利用者さんやその家族、知り合いに対し、肝炎ウイルス検査の重要性を説明する。
- 訪問時に利用者さん宅で利用者さん本人やその家族に肝炎や健康に関する啓発活動を実施する。

サルコペニア予防の説明

- 利用者さんに対し、サルコペニア予防の方法を分かりやすく説明し、日常生活でできる実践的なアドバイスを提供する。

利用者さんの気持ちの傾聴

- 利用者さんや患者さんとのケア中に、しっかりと気持ちを傾聴し、心理的なサポートを提供する。

感染症対策の勉強会

- 医療機関、施設、事業所内で、感染経路や正しい対応方法についての勉強会を定期的に行い、スタッフの意識向上を図る。



介護士さん だからこそ

肝炎ウイルス検査の推奨

- 利用者さんやその家族の中で肝炎検査未受検者に対し、肝炎ウイルス検査を受けるよう勧めることで予防と早期発見を促進する。また、医療機関では肝 Co や関連している看護師と情報共有する。

高度肥満患者さんの受診状況管理

- 高度肥満の利用者さんについて、必要に応じてケアマネジャー、担当医、肝 Co や関連している看護師に相談し、適切なケアと対応を実施する。

MEMO



介護士さん だからこそ

肝炎既往者の受診確認

- 肝炎既往のある利用者さんについて、受診歴を確認し、受診していない場合はケアマネジャーや担当医、肝 Co や関連している看護師に相談し、適切な対応を検討する。

ウルソ内服やグリチルリチン製剤使用時の対応

- 薬剤の知識を得て、ウルソの定期的な内服や、グリチルリチン製剤（強ミノファージェン C）の定期的な注射・点滴の情報がある場合、ウイルス性肝炎が無治療である可能性を考慮する。
- 必要に応じて、担当医、肝 Co や関連している看護師、ケアマネジャーに相談し、利用者さんが適切な医療を受けられるよう支援する。

MEMO



介護士さん だからこそ

肝炎患者さんへの出血時対応

- 肝炎患者さんが出血した場合に備え、正しい対処方法を把握し、迅速かつ適切に対応する。

ウイルス性肝炎未治療者の治療連携

- ウイルス性肝炎未治療の患者さんや利用者さんについて、ケアマネジャーや担当医、肝 Co や関連している看護師と相談し、治療の必要性を検討し対応する。

筋力維持のための運動支援

- 在宅では筋力が落ちないように、理学療法士と連携して運動方法を考案し、利用者さんに実践できる方法を提供する。

薬の管理

- 患者さんや利用者さんの薬の管理を行い、服薬状況を把握し適切なサポートを行う。

MEMO



介護士さん だからこそ

患者さんへの説明

- 治療歴のある患者さんや利用者さんに対し、定期検査の重要性を説明し、受診を促すことで健康管理を支援する。

多職種との連携

- 治療歴のある患者さんや利用者さんが定期検査を受診できるよう、ケアマネジャーや担当医、肝 Co や関連している看護師と連携し、適切な対応を行う。

MEMO



肝Co こんな活動も

事務さん



全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。

予防

肝がん肝硬変予防のため **肝炎の正しい知識**を **多くの方に普及**する

事務さん だからこそ

イベント案内と参加促進

- 外来患者さんに対し、肝炎教室などのイベントについて案内し、参加を勧めることで啓発を促進する。

患者さん相談への対応

- 患者さんやその家族の相談に対応し、必要な情報やアドバイスを提供する。

啓発資料の設置と情報提供

- 受付前、外来待合室、売店前のカフェコーナーに肝炎ウイルス検査案内のリーフレットを設置し、情報提供を行う。
- 受付前カウンターに手作りの肝 Co（または肝疾患専門医）の紹介ポスターを掲示し、啓発を行う。

事務さん だからこそ

健診や人間ドックでの肝炎検査促進

- 健診や人間ドックを受ける方に対し、肝炎ウイルス検査受検の必要性を声かけし、検査を促進する。

術前検査の採血結果説明

- 術前検査で採血した肝炎ウイルス検査の結果（陽性・陰性）を記載した説明書を作成し、医師の署名付きで患者さんに渡す。

問診票の項目追加

- 外来問診表に肝炎ウイルス検査歴、輸血歴、家族の肝炎歴などの項目を追加し、未受検者に検査を勧める。

電子カルテでの感染症アイコン確認

- 電子カルテ使用時には、患者さんの感染症アイコンを意識的に確認し、見落としを防ぐ。

無料検査イベント時の問診票チェック

- 無料肝炎ウイルス検査イベントにおいて問診票をチェックし、未受検者に検査を勧める。

MEMO



事務さん だからこそ

窓口での対応

- 窓口で肝炎について尋ねられた場合、適切な専門職（看護師、薬剤師、医師など）へつなぐ。

助成制度の案内

- 治療開始前の外来で、肝炎に関する助成制度について患者さんに説明する。
- 初回の精密検査費助成制度について、パンフレットを用いて分かりやすく説明し、制度の利用を促進する。

陽性者への受診促進

- HCV 抗体陽性者や HBs 抗原陽性者の受診状況を確認し、未受診の場合は速やかに受診を勧める。

患者さんのフォローアップ

- 受診日に来られなかった患者さんに連絡をし、次回の受診を促すことで治療の継続を支援する。

専門医療機関一覧の作成と配布

- 専門医療機関の一覧を作成し、患者さんに配布するほか、院内に掲示して情報提供を強化する。

助成制度の最新情報共有

- 助成制度に関する最新情報を患者さんだけでなく、医師や院内の肝 Co にも共有することで、制度の理解と利用促進を図る。

陽性者の拾い上げと専門医への連携

- 検査歴から陽性者を拾い上げ、肝臓専門医につなぐことで治療のスムーズな開始を支援する。
- HCV 抗体陽性者や HBs 抗原陽性者を担当医や看護師に報告し、適切な対応が行われるよう連携する。



事務さん だからこそ

助成制度の説明と申請支援

- 治療開始前の外来で助成制度についてパンフレットなどを用いて、患者さんにわかりやすく説明する。
- 助成制度申請用の診断書の作成について、手続きが円滑に進むよう支援する。

治療・定期検査の説明

- DAA 治療に関する副作用や治療後の定期検査について患者さんに説明し、理解を促す。

未治療患者さんへの対応

- 未治療の C 型肝炎患者さんが来院されたら、担当医や看護師に報告し、連携する。

患者さんへの心遣い

- インターフェロンフリー治療を終えた患者さんにメッセージカードをお渡しし、治療への努力を称える。

肝炎訴訟の医療文書作成

- 肝炎訴訟のために必要な医療文書の作成について、患者さんの手続きをサポートする。

対象者の拾い上げと連携

- 肝がん重度肝硬変研究促進事業の対象者を拾い上げ、肝臓専門医や看護師と連携して対応を行う。

MEMO



事務さん だからこそ

定期検査・助成制度の説明

- インターフェロンフリー治療後の定期検査の必要性や助成制度について、パンフレットを用いてわかりやすく説明する。

外来予約と受診の流れの案内

- 肝炎外来の予約を取り、当日の受診の流れ（受付、待合、診察の進行等）を丁寧に説明し、患者さんがスムーズに受診できるようサポートする。

受診促進のためのフォローアップ

- DAA 治療後に来院されなくなった患者さんに対して連絡を行い、受診を促す。また、定期検査未受診者をピックアップし、担当医師に治療後の定期検査が未実施であることを連絡して、早期の対応につなげる。

MEMO



肝Co こんな活動も

MR さん



全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。

労務上の規定により一部活動に悩まれることがあると思います。
まずは個人として、そして MR として無理せずできる活動から行いましょう。

予防

肝がん肝硬変予防のため肝炎の正しい知識を多くの方に普及する

MR さん だからこそ

社内・社外での肝 Co 活動の普及

- 会社内で肝 Co について説明し、スタッフの理解を深める。
- 自社主催の肝炎に関する講演会を医療機関へ案内し、参加を促進する。（肝 Co 研修を受講することで説得力を高める）

啓発イベントと情報共有

- 啓発イベントに個人として積極的に参加し、活動をサポートする。
- 訪問先で肝炎の情報を伝え、理解を広める。
- 肝 Co の活動を医療スタッフに紹介し、活動の重要性を伝える。
- 該当する肝炎関連情報（話題やイベント日時など）を SNS 上でシェアし、啓発活動の輪を広げる。

研修会や講演会での連携

- 研修会で肝 Co と連携を図り、肝疾患に関する知識を共有する。
- 肝 Co の活動事例を講演会などで広め、普及を促進する。

医薬品・制度変更の情報提供

- 薬剤や制度の変更に関する情報を医療機関や薬局に報告し、関係者への周知を行う。
- 自社で作成する啓発資材に対し、分かりやすいアイデアや要望を提供し、質の高い資料作成を支援する。

その他の情報提供と支援

- 肝疾患領域以外の医療従事者にも肝炎に関する情報を提供し、幅広い理解を促す。
- 肝がんや肝硬変に関する医療情報を共有し、医療従事者間の連携を強化する。

MRさん だからこそ

肝炎ウイルス検査の推奨

- 身近な家族、親戚、知り合いに肝炎ウイルス検査の重要性を説明し、受検を勧める。
- 会社の健診で肝炎ウイルス検査の受検を促し、予防と早期発見を推進する。

無料検査施設への案内

- 肝炎ウイルス無料検査を実施している施設を案内し、患者さんや関係者が適切な検査を受けられるよう支援する。
- 自社職員が無料肝炎検査を受けられるよう、関係部署と協力して環境を整える。

啓発資料の配布と情報提供

- 非専門医療機関や無料検査施設での肝炎ウイルス検査促進のため、ポスターや啓発資料の配布を行う。
- 非専門医療機関や無料検査施設にて未受検者への受検を勧め、検査の重要性を広める。

MEMO



MRさんだからこそ

非専門医療機関への情報提供

- 非専門医療機関に対し、院内拾い上げの仕組みや肝炎検査陽性者の対応方法について情報を提供する。

講演会と啓発活動

- 肝炎に関する講演会を企画・実施し、医療機関へ案内して参加を促す。
- 講演会を通じて、院内拾い上げやB型肝炎再活性化に関する知識を医療従事者に啓発する。

患者さん説明用資材の配布

- 肝疾患に関する患者さん説明用の資材を担当医療機関で配布し、患者さん理解を促進する。

専門医療機関での情報提供

- 専門医が在籍する病院において、他診療科の医師や医療スタッフに肝炎に関する情報を提供し、医療現場の知識を深める。
- 肝疾患領域所属以外の医療従事者に対して、「奈良宣言」や抗体検査結果告知の必要性について情報を共有する。

医療機関間の連携促進

- 非専門医療機関と専門医療機関の連携を支援し、肝炎患者さんのスムーズな診療につながる仕組みを整える。

MEMO



MRさんだからこそ

医師や薬局との連携と情報提供

- 非専門の医師に対し、最新の治療方法について説明し、知識を共有する。
- 医療機関と薬局の連携を促進し、患者さん支援の強化に寄与する。

資材作成のための情報収集

- わかりやすい啓発資材作成のため、必要な情報を収集し、活用する。
- 肝臓病教室に参加し、患者さんの体験談を聞いて資材作成の参考とする。

治療継続のための支援

- 治療継続のための資料やパンフレットを薬局にも配布し、協力を依頼する。
- 治療中の患者さんの状況を確認し、必要な情報（例：副作用マネジメント）を提供する。

MEMO



MRさんだからこそ

定期検査の必要性周知

- 定期検査の重要性を広めるため、講演会を実施し、医療従事者や患者さんの関心を高める。

フォローアップの案内

- フォローアップの必要性をかかりつけ医やかかりつけ薬局に案内し、継続的な支援体制を整える。

患者指導せんの配置

- SVR（治療成功後）の患者さんにフォローアップの重要性を伝えるリーフレットを処方医や薬局に配置し、患者さんが適切なケアを受けられるよう支援する。

非専門医への情報提供

- 定期検査の助成制度について非専門の医師に紹介し、制度の利用を促進する。

資材作成のアイデア提供

- 製薬会社として、定期検査のサポートができるような資材作成のアイデアを提供し、患者さんと医療従事者の双方に役立つ資料を作成する。

MEMO



肝Co こんな活動も

患者さん

全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。



予防

肝がん肝硬変予防のため肝炎の正しい知識を多くの方に普及する

患者さん だからこそ

啓発と情報共有

- 都道府県や市町村にポスター掲示を依頼し、地域全体での肝炎啓発を推進する。
- 電話相談を受けることで、患者さんや家族の相談に応じる。
- 差別や偏見に関する事例を情報共有し、理解促進を図る。
- 肝炎対策推進協議会で患者さんとしての意見を発言し、啓発活動や政策に影響を与える。
- 国や県に要望書を提出し、患者さんの立場から支援や制度改善を求める。

交流と学びの場の提供

- 患者さん交流会を開催し、患者さん同士が経験を共有し、支え合う場を提供する。
- 患者さん同士の勉強会を実施し、知識を深めるとともに、共通の課題に取り組む機会を作る。
- 医療講演会を開催し、肝疾患に関する情報を広める。

体験談の共有と教育活動

- 自身の経験を話すことで、他の患者さんや関係者の支えとなる。
- 学生向け講演を行い、肝疾患についての理解を促進する。
- 肝 Co 養成会で講師として体験談を話し、次世代の肝 Co の育成に貢献する。

肝 Co としての活動

- 肝 Co として活動し、肝疾患に関する支援を提供する。
- 患者さんが肝 Co になることの意義を国と共有し、制度や社会の理解を深める。

カミングアウトの意義

- 自身が肝疾患であることをカミングアウトすることで、周囲に肝疾患への理解を深めてもらう。

患者さん だからこそ

身近な人への説明

- 身近な人々に対し、肝炎ウイルス検査の重要性を説明し、早期発見の必要性を伝える。

同窓会での啓発

- 同窓会などの集まり等で肝炎ウイルス検査について説明し、多くの人に検査を受けるきっかけを提供する。

無料検査の案内

- 無料肝炎ウイルス検査を受けられる施設や仕組みについて案内し、周囲の人々が検査にアクセスしやすい環境を作る。

MEMO



患者さん だからこそ

受診の促進

- 肝炎ウイルス検査陽性者に対し、速やかな受診の必要性を伝え、適切な医療機関での診察を勧めることで健康管理を支援する。

精密検査費助成制度の説明

- 精密検査費助成制度について、パンフレットや簡潔な説明を用いて患者さんにわかりやすく伝える。
- 制度の利用手続きやメリットを説明し、患者さんが検査を受ける際の経済的負担を軽減できるよう支援する。

MEMO



患者さん だからこそ

治療に悩む患者さんへの説明と案内

- 治療に悩んでいる患者さんに対し、治療の重要性を伝えることで、安心して決断できるよう支援する。

体験談の共有

- 自身の治療経験を説明し、患者さんにリアルな情報と励ましを提供する。
- 自分の体験を通じて患者さんの不安を和らげ、治療への前向きな姿勢を促す。

治療費助成制度の説明

- 治療費助成制度について詳しく説明し、制度を利用する方法やメリットを患者さんが理解できるよう支援する。

患者さん相談の対応

- 治療に不安を感じている患者さんの相談に乗り、心理的なサポートを提供する。
- 患者さんが安心して治療に取り組めるよう、適切なアドバイスや情報を共有する。

MEMO



患者さん だからこそ

定期検査の受診促進

- 治療歴のある患者さんに対し、定期検査を必ず受けるよう説明し、健康管理の継続を促進する。

HCV 抗体陽性の意味の周知

- HCV 抗体陽性について、治療後も抗体陽性が継続することを丁寧に説明し、患者さんが検査結果を正しく理解できるよう支援する。

定期検査の必要性の説明

- 定期検査が必要である理由として、ウイルスを排除しても肝がんのリスクが残ることを患者さんにわかりやすく伝える。
- 定期検査を受けることで、早期にリスクを把握し対応できることを強調する。

MEMO

